



次世代花粉交配昆虫

クイーンフライ[®] QUEENFLY[®]

- スペインのPOLYFLY社が生産する花粉交配用ハナアブ
- 在来種の名ハナアブ (*Eristalis tenax*) を利用した全く新しい花粉交配サービス
- サナギ～成虫の状態でお届け
- ミツバチやビーフライ、マルハナバチと併用可能

ハナアブとは

双翅目の代表種であり国内だけでも約450種存在し、自然界の約30%の受粉を担っています。その訪花能力の高さを農業資材として活用するために開発されたのがクイーンフライ[®]。ミツバチ不足を補う資材として期待が高まっています。

商品特性



● 様々な作物に使用可能

イチゴ・スイカ・メロン・マンゴー・ブルーベリー・アボカド・ニンジン・タマネギ・など。

● 活動温度帯が広く 雨天曇天でも活躍

活動温度帯: 10℃～30℃ 低温期、高温期でも活躍します。

飛行するにあたり紫外線を必要としないため悪天候でも訪花活動を行います。

● 訪花能力が高い

運動量が多く活発に活動し頻繁に訪花 体毛が多く花粉を多くつけ飛び回ります。

● 刺さない

ハナアブは刺したり噛んだり致しません。

● 安定生産 安定供給

工場生産のため気候変動などの影響を受けにくく安定供給が可能です。

商品比較

商品内容	訪花能力	活動温度帯	温度幅	紫外線	使用期間
クイーンフライ	中	10℃～30℃	21℃	不要	2～4週間
ミツバチ	中	18℃～25℃	8℃	必要	1～6ヶ月
マルハナバチ	高	15℃～28℃	14℃	必要	6～7週間
ビーフライ	低	10℃～35℃	26℃	不要	2～3週間



商品規格・規格別使用目安

Sサイズ

(縦6cm×横6cm×高さ12cm)

内容量100匹/箱



Mサイズ

(縦10cm×横14cm×高さ10cm)

内容量500匹/箱



作目別使用量目安(10aあたり)

交配作物	サイズ	ハナアブのみ	ミツバチとの併用
イチゴ	S	8~10箱	2~6箱
	M	2箱	1箱
スイカ・メロン	S	4~6箱	2~4箱
	M	1箱	1箱
マンゴー	S	20箱	10箱
	M	4箱	2箱

※国内での実績データ集積中につき随時改定いたします。



導入方法

ご使用方法

・商品は、サナギの状態でお届けします。サナギを羽化させることで、成虫が受粉を行います。
(※輸入品のため、お届け時点で羽化している場合もございます。)

開放

・ご使用の際は、前後2箇所にある切り取り線の箇所を押し開けてください。

羽化方法

・サナギを23℃前後の環境下に設置すると、羽化期間を短縮できます。(目安:加温2~3日、無加温5~10日)
※ビーフライ専用ヒーターなどの応用も可能。

・加温器がない場合、箱を開けた状態で虫かごに入れ、20℃前後の温度が確保できる室内で管理(2日程度)すると羽化までの時間を短縮することができます。羽化が始まったら、ハウス内に導入をお願いします。

・ハウス内に導入する際は、風通しがよく、直射日光の当たらないところに設置をお願いいたします。

・箱を地面に直接設置すると徘徊性のクモやアリにより食害される恐れがあります。

・箱を吊り下げる場合は、1m以内の高さに設置してください。それ以上の高さに設置すると羽化したハナアブが出口から落下してダメージを受ける恐れがあります。

給餌

・エサは基本的には必要ありませんが、花の少ない時期は砂糖などを与えて頂くにより活性がでます。

逃避防止

・ハナアブは帰巢性を持たないため、放飼後はミツバチやマルハナバチのように回収することができません。

・厳寒期はネットなしでも概ね利用可能ですが、暖かい時期は野外に出でしまい、圃場に戻ってこない可能性が高いため、**ネット(4mm目以下)を展張するなどの対策が必要**です。

導入

使用

農薬

・右記のQRから農薬影響表をご確認いただき、計画的な農薬散布をお願いいたします。

使用期間

・寿命は2~4週間程度です。長期使用の際は定期導入・連続放飼が必要になります。

ご使用后

・箱や蛹の殻は、そのまま可燃ごみとして廃棄して問題ございません。

